

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営の基本方針

競争力ある事業の育成を通じて、持続的かつグローバルに発展することを目指す。

戦略事業売上比率
50%CO2総排出量削減
50%削減

② 中長期の経営戦略

1. 稼ぐ力の強化

ROIC導入による事業分析と低採算事業の撤退を含めた対策で、事業ポートフォリオを最適化。

3. 人材への投資

賃金改善・作業環境改善・人事評価制度見直し・エンゲージメントサーベイで人的資本を活用。

2. 戦略事業の育成

環境対応・海外事業・EVシフト等5つの事業と新規事業を定め、2030年に売上比率を30%から50%に拡大。

4. サステナビリティ経営

CO2フリー電力切り替えで2030年度50%削減を目指し、再生可能エネルギー等で社会課題に貢献。

③ 対処すべき課題

① PBR1倍未満の解決

- 業績ボラティリティの高さと成長戦略の不確実性が課題。
- 資本コストを上回る安定的収益確保が必要。

② 事業構造の転換

- 景気・需要動向に左右される現状から脱却。
- 将来の需要構造変化に対応可能なポートフォリオへの転換が必須。

③ 個別事業での課題対応

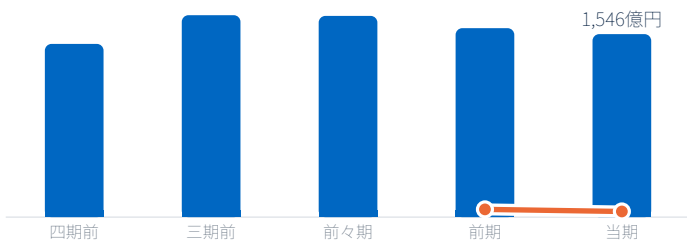
- 特殊鋼：国内市場縮小への対応とカーボンニュートラル推進。
- ばね：EV化による乗用車向け需要低迷と北米関税リスク対応。
- 素形材：内燃機関偏重からの脱却と粉末事業の拡販。

面接で使えるポイント

- 2030年に戦略事業の売上比率を現状30%から50%に拡大する成長ビジョンと具体的施策に注目。
- CO2排出量50%削減（2013年度比）を掲げ、室蘭製作所でCO2フリー電力活用を推進する環境への実行力。
- PBR1倍未満の課題解決に向け、ROIC導入による事業ポートフォリオ最適化と資本効率重視の経営姿勢。

証券コード 5632

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,546億円営業利益率
3.1%財務健康度
28点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 52.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
788万円
鉄鋼内 9位/38社平均年齢
43.3歳
鉄鋼内 11位/38社平均勤続
20.2年
鉄鋼内 6位/38社女性管理職
5.6%
鉄鋼内 8位/32社男性育休
100.0%
鉄鋼内 5位/32社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 三菱製鋼[5632]：コーポレート・ガバナンスに関する報告書

